

1 事業概要

事務事業名 社会援護推進事業		課名	福祉課	事業No.	69	
		会計	一般会計			
		事業区分	経常	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画					
法令・例規等		保護司法				
		犯罪者予防更生法				
事業目的	対象	市民				
	意図	犯罪や非行の防止と罪を犯した人の更生に理解を深めることによる明るい地域社会の構築				

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	・社会を明るくする運動の活動として、「愛のはがき募金」「公開ケース研究会」「地区講演会」「中学生対象講話会」「小中学生への啓発活動」「作文コンテスト」「ミニ集会」「広報・街頭啓発活動」を行いました。 ・遺族会への補助金交付を行いました。		保護司会研修会等旅費				20	
			飯田市遺族会補助金				80	
		その他の経費				0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度
	社会を明るくする運動事業参加者数/市民の人数		%	3.7	3.5	3.5		
	愛のはがき募金		千円	3,298	2,942	3,268		
30年度 決算 (千円)	予算額		118	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額		100					
	財源の 状況	国庫支出金		0				
		県支出金		0				
		地方債		0				
		その他		0				
一般財源		100						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	1	2	10	1	118	100	援護一般経費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・社会を明るくする運動の各事業について、毎年地区を変えながら開催しているが、まだまだ「更生保護」や「社会を明るくする運動」の知名度・理解度は低いと思われます。今後さらに多くの市民が何らかの形で社会を明るくする運動の事業を知り、参加できることを目指す必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		・推進委員会を中心に事業の内容等を検討しながら、市民の関心と理解を深めるよう、事業の趣旨や内容の啓発、PRを行うことが有効。地元FMラジオ等の活用を図ります。							
次年度に向けての取り組み		・市民の関心と理解を深めるよう、地元FMラジオの活用や各地区の広報紙などを活用してのPRを検討します。							